



6月5日水曜日、曇り。北山村の平和行進です。新宮市を出発し、奈良県十津川村に入り、再び和歌山県の飛び地北山村へ車で1時間かけ走ります。北山村は、三重県と奈良県に囲まれた全国唯一の「飛び地」の村です。集会前に北山村村長を表敬訪問しました。村長は留守でしたが、総務課長より協賛金とペナントを頂きました。又、「被爆者募金箱」も置いて頂ける事になりました。出発集会が役場の駐車場で始まります。最初に地元代表新宮東牟婁原水協の岸本芳明さんが「今年の平和行進は被爆75年の2020年へ、核兵器のない世界実現に向けて前進するために、国内外での共同をすすめる重要な意義を持っています」と挨拶。次に山口賢二北山村村長のメッセージを尾中靖総務課長が代読。「核兵器の無い平和な世界を後世の人につなげるのは、被爆国日本の義務と責任である」とメッセージを読み上げて私たちの平和行進を激励して頂きました。そして、県平和行進実行委員会からの挨拶、わかやま市民生協の栗栖さんの「決意表明」と続きます。最後に、地元和教組の分会の畑下祐輔さんが「集会宣言」を読み上げ、参加者全員で「青い空」を合唱しました。平和行進の第一歩は、北山村尾中総務課長に横断幕をお持ち頂き駐車場での記念撮影です。集会へは北山村役場職員が12名参加。集会全体の参加は23人、地元北山村の若い教職員も参加しています。署名は12筆。村内を一周する平和行進では、地元の教師の教え子たちと父兄の方々が家の外に出てくれ笑顔で手を振ってくれました。

今日は、和歌山→広島コース最後、新宮市の平和行進となります。

原水爆禁止和歌山県平和行進実行委員会事務局